



桃五だより



No.600

(6月号)

2021.5.31

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

多くの大人の力を借りて子供たちを育てる

校長 川 田 忠

5月15日の土曜授業日の様子です。

この日は、前日の14日に引き続いて漢字検定の集金日になっていました。支援本部の方が、子供たちの登校時刻に合わせて2階3階の教室前で集金をしてくださいました。その後、級ごとの受験者数を集計するとともに、集金額の確認を行ってくださいました。

1校時が始まるずっと前から、校庭にはたくさんの保護者や地域の方が集まっていました。校庭芝生のポット苗づくりを3・4年生が行うために、準備とお手伝いに駆けつけていただいたのです。

1校時は3年生、2校時は4年生が、準備していただいた芝を使って、ポット苗づくりを行いました。芝生委員や各クラスの芝生係、これまで芝生委員などで作業に関わってこられた方々、おやじの会やOBの皆さん、PTA役員、地域の方々など総勢80名を超える皆さんの協力がありました。

ポット苗づくりと並行して芝刈りをしたり、子供たちにエアレーションを体験させていただいたりしました。子供たちは、見ること、聞くこと、実際にやることを通して、楽しく学んでいる様子がありました。

1校時の校庭では、もう2つの学年も活動していました。1年生はあさがおの種植え、2年生は野菜苗の土入れを行いました。1・2年生共に一人一つの鉢を持ち、鉢を落とさないように注意すればするほど足元がおぼつかない様子で学級園まで移動してきました。両方の学年には支援本部のみなさんが付いてくださり、移動から土入れまでのお世話をしてくださいました。この活動は1時間ごとクラス単位で行ったので、3校時までかかって学年全員の鉢が整いました。

3時間の授業が終了した後、土曜補習を行いました。学年ごとに補習をすすめていきましたが、3年生の時計学習の場には、8名の支援本部のみなさんが子供たちに付いていました。子供たちの時計の読み取りの相手になって「10時20分から45分経つと何時何分？」の答えを聞いていただきました。

学校にたくさんの大人の力が集まりだして、もう20年くらいになるのでしょうか。昔の学校完結型の教育から、開かれた学校として様々な形で大人のみなさんの支援をいただき、より豊かな学び、より豊かな教育活動を実践する学校となってきています。

大人は、忙しい。仕事があり、家庭があり、様々な人間関係の中で、学校に時間を割くことは簡単ではないはずです。そんな皆さんの「学校に多くの力を」がどれほど大変なことか、十分理解しているつもりです。

それだけに、桃五小で子供たちの教育に携わる立場として、多くの大人の皆さんが関わっている今の姿には、感謝しかありません。子供たちのために、という思いで教育活動を支援していただける体制は、この学校の大きな特色であり、素晴らしい教育力であると思っています。

15日には、おやじの会の皆さんから「できることはやるから、なんでも言ってほしい」との言葉をいただきました。学校支援本部「絆」は、「できる時に、できる人が、できる事を」を基本理念に、今日も朝遊びの見守りを行っていただいています。

多くの大人の力を感じて育つ桃五の子供たちです。この子たちが大人になったとき、次世代の子供たちに対して、今度は支援をしていく人になっていくでしょう。桃五小の教育活動が、未来を創る。と思います。

6月の生活指導目標

校舎内での過ごし方を工夫しよう

6月になり、梅雨を迎えます。雨の日の過ごし方を工夫し、階段やオープンスペースの歩き方をさらに気を付けて、怪我なく安全に学校生活が過ごせるようにしていきましょう。「これぐらいいいかな。」という気持ちに流されず、約束を守り落ち着いた行動ができるよう、学校全体で指導していきます。